

2025 年度糖尿病重症化予防（フットケア）研修会 in 佐賀

開催要項

主催：佐賀県糖尿病協会

共催：日本糖尿病教育・看護学会

九州慢性看護実践研究会

糖尿病看護におけるフットケアとは、足病変の予防的なケアと早期発見や治癒促進に向けたケアに留まらず、患者自身が足の手入れの必要性を実感し、継続的に実施できるように意図的に働き掛けることである。今回、糖尿病看護におけるフットケアの意味を正しく理解し、フットケアの技術を学び、糖尿病患者の QOL 向上に向けて具体的な働きかけができる人材を育成する事ができるような研修としたい。

1. 目的：糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と技術を身につける
2. 教育目標：
 - 1) 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する。
 - 2) 糖尿病患者の足病変の病態生理・治療を理解する。
 - 3) 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ
 - 4) 糖尿病患者へのフットケア技術を学ぶ。
 - 5) 糖尿病患者事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する。
 - 6) 予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる。
3. 開催期間・時間：（主催：佐賀県糖尿病協会、共催：日本糖尿病教育・看護学会）
 - 1 日目 2025 年 12 月 20 日（土）集合研修
 - 2 日目 2025 年 12 月 21 日（日）集合研修計 16 時間（2 日間）
4. 会場： 佐賀大学医学部看護学科 成人・老年看護学実習室
5. 受講資格：下記要件すべてを満たすものとする。
 - ① 糖尿病足病変患者の看護に従事した経験を 5 年以上有し、研修修了後、その業務に携わる予定の看護師であること
 - ② 糖尿病合併症管理料が算定できる施設基準を満たしていること（今後、糖尿病重症化予防（フットケア）研修を修了した看護師がいれば施設基準を満たす予定であること）
 - ③ 所属長（理事長または院長、看護部長以上の役職者）からの推薦書があること
 - ④ 2 日間のプログラムすべてに参加できること
6. 受講料： 25,000 円

7. 申込方法・申込期日

申込書と推薦書（施設長または看護管理者記載のもの）をご用意の上、期間内に申込先まで郵送してください。フォーマットは佐賀県糖尿病協会 HP よりダウンロードしてください。申込受付完了後、委員会にて受講者を決定します。

糖尿病療養指導士・一般（九州内） 2025 年 9 月 1 日（月）～2025 年 9 月 30 日（月）

一般（九州以外） 2025 年 9 月 15 日（月）～2025 年 9 月 30 日（月）

8. 定員および受講者の決定：

定員 40 名

九州内で定員を満たした場合は、一般の募集を締め切らせて頂きます。

9. 修了証 研修の全プログラムを修了した参加者に修了証を発行致します。

※フットケア研修は 16 時間の研修時間が課せられており、全プログラムに参加した参加者のみに修了書を発行いたします。遅刻・途中退席等は認められません。

10. 受講通知

受講決定通知は、10 月 20 日（月）までに通知の予定です。やむを得ない理由で研修に参加できなくなった場合は、10 月 24 日（金）正午までに事務局へ事前にご連絡ください。それ以降はいかなる場合においても返金いたしません。

11. 受講料払込期日 10 月 20 日（月）～10 月 31 日（金）

納付方法は受講決定通知時にお知らせいたします。

12. その他 持参していただく物品、参加時の注意事項等の詳細は受講決定通知後にご案内します。

<申込郵送先>

佐賀県糖尿病協会事務局

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島 5-1-1

佐賀大学医学部看護学科 糖尿病重症化予防（フットケア）研修担当（永渕 美樹）

TEL：0952-34-2551（平日 9 時～16 時）

<お問い合わせ先>

佐賀大学医学部看護学科

担当：永渕美樹

E メール：arakimi@cc.saga-u.ac.jp

研修タイムスケジュール

1 日目 2025 年 12 月 20 日（土）対面研修

時間	項目		ねらい	内容	講師
8 : 30-9 : 30 (60 分)	講義 1	糖尿病患者の療養を支えるフットケア	糖尿病患者へのフットケアは、糖尿病や足の状態、生活・セルフケア状況を統合して捉え、患者に適したフットケア方法を継続的に実践していく、セルフケア支援のプロセスであることを理解する。	1. 糖尿病患者への足への関心 2. 足の状態を共通理解するための働きかけ：足を見る、足に触れるということ足を見るのを促す、足に触れるのを促すということ 3. 足のケアを通して患者の生活を理解すること 4. 療養を支えるフットケア～継続していく大切さ 5. チーム医療における看護師が行うフットケアの意味	慢性疾患看護専門看護師 (小川和美)
9 : 30-11 : 30 (120 分)	講義 2	糖尿病患者の足病変 ～病態生理から治療まで～	糖尿病患者の足病変、病態生理、治療、検査について理解する。	1. 糖尿病足病変の病態生理 2. 糖尿病神経障害の検査 3. 血流障害の検査 4. 糖尿病足病変の治療	日本糖尿病学会専門医（安西）
11 : 30-12 : 20	休憩（昼食）				
12 : 20-13 : 50 (90 分)	講義 3	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント①	糖尿病患者の足の状態、全身状態、生活状況、セルフケア状況、リスクなどアセスメントに必要な知識を理解する。	1. アセスメントとは 2. 記録用紙の使い方と意味 3. 糖尿病患者のハイリスク評価 4. 足の状態を捉える 皮膚の状態、神経障害、血流障害、生活状況 5. 全身状態を捉える 姿勢、歩き方、高血糖、低栄養、免疫力 6. セルフケア状況の把握 足への関心 フットケアに対する理解 足の問題に関する経験 生活習慣 サポートパーソン 7. 生活状況を捉える 足への負荷の状況-仕事 靴の選択 清潔習慣	糖尿病看護認定看護師 (田中和子)

13 : 50-15 : 30 (100 分)	演 習 1	糖尿病患者の フットケアの ためのアセス メント技術	糖尿病患者へのフット ケアにおける足の状態 のアセスメント及び、 足病変のリスク評価の 技術を学ぶ。	1. デモンストレーション(研修担当) 2. 参加者がペアになり演習 ・姿勢、歩き方、足の外観を捉える、 知覚および血流の状態、靴や靴下の 観察 ・生活状況、足の手入れの状況の確 認 ・フットケア記録用紙の活用 ・足の状態をアセスメントする ・足病変のリスクを評価する	慢性疾患看護 専門看護師 (南里穂)
15 : 30～15 : 40	休 憩				
15 : 40～16 : 10 (30 分)	講 義 4	糖尿病患者の フットケアの ためのアセス メント②	アセスメントの統合と 足病変リスク評価に伴 う課題抽出過程を理解 する。	アセスメントの統合 足病変のリスク評価 課題の抽出過程の解説	慢性疾患看護 専門看護師 (南里穂)
16 : 10～17 : 50 (100 分)	講 義 5	フットケアの 実際～予防の ためのセルフ ケア支援～	糖尿病患者の置かれて いる状況やリスクの評 価を基に、その患者に適 したフットケアの実践 ができ、セルフケア支援 につなげることができ る	1. 予防のための方法 清潔を保つ 乾燥を防ぐ 感染を防 ぐ 蒸れを防ぐ 圧迫、ずれを避 ける 2. セルフケア支援のためのポイント	慢性疾患看護 専門看護師 (山田明子)

2 日目 2025 年 12 月 21 日 (日) 対面研修

時間	項目	ねらい	内容	講師
8 : 30-10 : 30 (120 分)	演 習 2	フットケアの実 際～予防のため のセルフケア支 援技術～	糖尿病患者のフットケ アの予防のためのセル フケア支援技術を経験 し、身につける ・デモンストレーション(研修担当) (1) 患者の足を見る、触れる (2) アセスメントをする (3) 必要なケア内容を検討する (4) 処置を行う ①ゾンデの使用方法 ②ニッパー、ヤスリによる爪のケア ③コーンカッターの使用方法 ④レデューサーの使用方法 ⑤保湿 (5) セルフケアに向けての支援 2. 参加者がペアになり演習	慢性疾患看護 専門看護師 (藤井純子)
10 : 30-10 : 40	休 憩			

10 : 40-10 : 50 (10 分)	演 習 3	事例分析と評価 ① -事例の説明	事例を展開し、フットケ ア計画の立案につなげ ることができる	事例の説明	糖尿病看護認 定看護師 (梶野美保)
10 : 50-12 : 30 (100 分)	演 習 4	事例分析と評価 ② -アセスメント と問題点の抽出	足病変のハイリスク状 態にある糖尿病患者の 事例を通してフットケ ア計画 を立案する-ア セスメントから問題点 の抽出ができる	事例検討 (グループディスカッショ ンと全体討議)	糖尿病看護認 定看護師 (梶野美保)
12 : 30-13 : 30	休 憩 (昼食)				
13 : 30-15 : 30 (120 分)	演 習 5	事例分析と評価 ③ -ケア計画立案	足病変のハイリスク状 態にある糖尿病患者の 事例を通してフットケ ア計画 を立案する～看 護問題から課題と具体 的なフットケア方法を 立案する	事例検討 (グループディスカッショ ンと全体討議)	糖尿病看護認 定看護師 (梶野美保)
15 : 30-15 : 40	休憩				
15 : 40-16 : 30 (50 分)	演 習 6	まとめ 今後の糖尿病重症化 予防 (フットケア) の活動 に向けて	自施設において、フット ケアを実践するための 方法を考える	自施設における、今後のフットケア 活動計画を立てる	慢性疾患看護 専門看護師 (猪川康江)
16 : 30-17 : 30 (60 分)	講 義 6	糖尿病重症化予 防におけるフッ トケアの評価と 今後の課題	糖尿病重症化予防にお けるフットケアの評価 と今後の課題を理解し、 予防的フットケアを実 践するためのチーム及 びシステム作りを考え る	1. 平成 20 年度診療報酬における糖 尿病重症化予防 (フットケア) の 位置づけ 2. 予防的フットケアを実践するた めのチーム医療及びシステム作り	日本糖尿病教 育看護学会推 薦理事

*講義・演習はフットケアに関する知識や技術を有する者が担当いたします。また、演習時は各グループに 1 名日常的にフットケアを実践している者を支援者として配置いたします。